

新技術・情報名	ハウスミカンに於ける客土効果
場所名	長崎県果樹試験場
<p>1. 成果の内容</p> <p>1) 技術・情報の内容及び特徴</p> <p>(1) 客土を行うことにより樹勢は強くなる傾向にあり、特に夏枝型に於てその傾向は明らかであった。</p> <p>(2) 葉色は春枝型が、夏枝型に比べ濃くなる傾向にあった。細根量は、夏枝型の方が春枝型に比べ多く、特に客土暦の長い佐世保地区で多くみられた。</p> <p>(3) 収量は、夏枝型では客土をすることにより増収する傾向がみられたが、春枝型では効果がほとんどみられなかった。</p> <p>(4) 上層(客土層)土壌において、佐世保、諫早地区では塩基やリン酸の集積がかなりみられたが、客土1年目の加津佐地区では集積はみられなかった。</p> <p>2) 技術・情報の適用効果</p> <p>客土を行うことにより細根が増加し、樹勢の向上、増収を図ることができる。</p> <p>3) 適用範囲</p> <p>ハウスミカン栽培地帯</p> <p>4) 成果の利活用・普及指導上の留意点</p> <p>春枝型は、施用後の期間が短い園が多く明らかな結果が得られていないので今後の成績を参考にしてもらいたい。客土しても短期間に塩類の集積がみられるので注意する必要がある。客土に用いる土は母材が異なる方が望ましい。</p>	

## 2. 具体的データ

表1 ハウスミカン園における客土の効果に関する聞き取り及び観察調査結果

(1991.10)

地域(園数)	有機物 施用量	樹 勢		葉 色	細根量	収 量	
		客土前	客土後			客土前	客土後
	(kg/10 a)					(kg/10 a)	
佐世保 (15)	347	3.56	4.17	4.86	3.27	5180	5754
諫 早 (13)	2000	2.35	3.50	5.08	2.17	4933	4800
加津佐 (17)	2120	2.69	3.15	4.50	2.31	4600	4292
佐世保 夏枝型 (13)	345	4.20	4.67	3.46	4975	4975	5700
春枝型 ( 2)	360	4.00	6.00	2.00	6000	6000	6000
諫 早 夏枝型 ( 7)	2000	3.57	4.86	2.14	4150	4150	4500
春枝型 ( 6)	2000	3.40	5.40	2.20	5560	5560	5040
加津佐 夏枝型 ( 4)	2800	3.33	4.33	2.67	4833	4833	4833
春枝型 (13)	1700	3.10	4.54	2.23	4530	4530	4130

注) 客土時期 佐世保・昭和60～平成1年 諫早・平成1～2年 加津佐・平成2  
 客土の種類 佐世保・花崗岩のマサド 諫早・安山岩質土壌 加津佐・三紀層土壌  
 樹勢は、弱～強を1～5段階で評価した。  
 葉色は当試験場の葉色板を使用した。  
 細根量は、少～多を1～5段階で評価した。

## 3. その他特記事項

担当部科名：施肥改善科

研究期間：平成3年度